

令和4（2022）年度 第4回四万十町立図書館協議会 会議録（要旨）

日 時：令和4年2月9日（木） 10時30分～12時

場 所：四万十町役場東庁舎2階町民活動支援室

出席委員：竹村君子、刈谷明子、武内文治、小橋匠

欠席委員：金子仁

事務局：浜田教育次長、味元課長（生涯学習課）、大河原館長、田辺副館長、富永主査（生涯学習課）、長木（図書館）、山口（図書館）山地（図書館）、川上（図書館）

文化的施設整備推進室：大元政策監、西尾

十和町民生活課：畦地課長、萩原

【議事次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告

（竹村委員長）

今年度最後という事で、日差しの光も春になってきました。高知にも春が来たなあと感じます。

12月の議会で議決されたと聞いたので、それが目標ではなくこれから、今回は報告という事ですが、気づいた点のご質問等をお願い致します。それでは3.報告（1）令和4年度の事業の進捗についてから説明をお願いします。

3.（1）令和4年度の事業の進捗について

①「四万十町文化的施設サービス計画」に基づく事業の進捗

資料：令和4年度第4回図書館協議会【資料①】移動図書館車導入・準備

—事務局説明—

▶移動図書館について

資料：令和4年度第4回図書館協議会 <別紙資料 移動図書館について>

—事務局説明—

【質疑応答】

—移動図書館車の写真を共有—

（竹村会長）

移動図書館車の感想として目に見えるという事はとても大事だと思いました。明るくて楽しそうですね。

(刈谷委員)

移動図書館車での返却はどうやって行いますか？

(大河原館長)

基本的には、巡回先で貸出すると、次の移動図書館車で返却することを想定している。

今後、移動図書館車で貸出した本を大正分館や本館で返却できる。また本館や大正分館で貸し出した本も移動図書館で返却を可能にしたいと考えている。

しかし、移動図書館車の巡回は1か所につき1か月に1回程度の頻度を想定している。現段階では図書館で貸出した本は2週間が期限になるが、移動図書館で借りる時と期間の違いが出てくると考えている。

(武内委員)

スケジュールは毎月固定の曜日・日に運行するのか、日程が毎月変わっていくのか決まっていますか。

(刈谷委員・武内委員)

移動図書館車でも本館や分館のようにバーコードでの貸出しですか。

(田辺副館長)

スケジュールについては、貸出日程は、長期休暇や休日、日程で多少変化していくと考えています。資料中にある日程は、あくまで参考と考えて頂ければと思います。4月から9月までカレンダーに当てはめた物を配る予定です。

(大河原館長)

バーコード返却については、私から説明します。

図書館のデーター・電算システムの見直しをするという事で、今使っている電算システムでバーコードを読み取ると別費用が掛かったり、通信環境の問題・次のシステムの切り替えて導入すると、また別に費用が掛かってしまうという事になる。現段階では最初は、パソコンのエクセル画面にバーコード入力し、データーだけを持ち帰り図書館で貸出処理をするという対応にしています。その間に何か問題が生じれば、現地で紙を使ってメモを取りながらの対応になります。

ですので、バーコードで貸出しする様になるには新しいシステムを導入し、リアルタイムで処理できる用に考えている所です。最初は混乱があるかと思われます。

(武内委員)

移動図書館車専属職員はどのような体制を目指しているのですか？

一人が車両に乗るのか。それとも図書館職員も一緒に同行するのですか？

(大河原館長)

会計年度任用職員で運転手を募集しています。源時点で手を上げていただいている方はいません。

特に最初の頃は、合わせて図書館職員も一緒に行くように考えています。

（武内委員）

前から言っていたが、図書館・分館含めて物などの購入にはエネルギーを割けるが、運営する人についての計画が、手遅れになっている様な気がします。

自分が元々サポータークラブ・ボランティアに興味があった。そして自分もボランティアという形でサポートして行きたいという思いもある。

図書館へのサポート、ボランティアに興味のある人・ない人 での雇用では、働くことのモチベーションに違いが出てくると思います。箱モノを「育てる人」を雇用して頂きたいと思いがあります。そういった意味で、移動図書館車の運転手になる方は一定に幅広く対応できる人・本に愛情や地域地図に詳しい人、学校図書の関係も含めて関りを持っている人を雇用・育成してもらいたい。

（刈谷委員）

実際に運行すると、「うちにも来て欲しい」「こんな事が出来のだったら」という声が出てくると思う。そうすると規模感やニーズに合わせてもう少し予算の要求も通りやすくなると思う

（大河原館長）

まずは知ってもらうという事と、四万十町内で移動図書館車が個人の貸し出しをしながら動くという事は初めてになるかと思えます。あんなに可愛い車が町内を走りますので、車を見た子どもたちに手を振っていただけるなどいい関係を作っていけたらと思っています。

（竹村委員）

以前にやったアンケートで「なぜ図書館を利用しないのか」という問いに上がっていた、「図書館の場所が分からない」「遠い」などの問題点はいくらか解消できる気がいたします。
では移動図書館については、よろしいでしょうか。

（竹村委員）

では、次に行きます。

（大河原館長）

十和地域振興局 町民生活課さんご説明よろしくお願いします。

▶十和分館整備事業について

資料：令和4年度第4回図書館協議会 <別紙資料 十和分館整備事業について>

—事務局説明—

【質疑応答】

(竹村委員)

十和地域での図書館分館を作りたいという事で、再案とはこれから出来るということですね。

(刈谷委員)

質問いいですか？令和5年度から6年度にかけて、具体的な検討を行って、その後どのくらいのスケジュール感でいつまでに完成するなどはまだこれから検討されるのですか？

(畦地委員)

はい。基本的には検討委員会。例えば、立地場所にもよるかと思います。状況によって令和6年度のスケジュールが順番に決まっていくと思いますが、早めにやりたいとは思っています。

(竹村委員)

畦地課長は整備検討委員会で委員になられるのですか。

(畦地課長)

はい。十和町民生活課の課長です。

(竹村委員)

これから整備検討委員会をつくられていく。委員会を作るところからはじめられる委員会が出来てから、立地希望等の案も立てていく。

(畦地課長)

そうです。

(大河原館長)

今回の十和分館の準備事業については、ぜひ話に来て下さいという事で報告事業に入れさせていただきました。3月の議会で、来年度予算として十和分館についての委員が明示され、動きが出てくる。サービス計画であったり振興計画であったりの中で位置づいていて、どの地域においても読書環境の為に考えていくという事を進めます。という事でご説明をさせていただいております。図書館の分館という事で、図書館機能が基本的という事もあります。

(竹村委員)

分館設置の方向でこれから進みますという事です。3月に予算が計上される。

(大河原館長)

はい。

(刈谷委員)

これは文章の中でいうと検討しています。という事ですが、設置を検討しているという事は、検討の内容としては設置されないという可能性がありますか。

(畦地委員)

町長の方針としては、設置をする方向でという事です。設置をしないこともゼロではないとは思っています。

(竹村委員)

検討段階で、作る方向で進んでいるとは言えないですね。
文化施設を新しくして行きましょうという大きな流れで、十和にも分館をとという方向には進んできて、3月の予算でという事だと思いますが、そこで分館設置を検討する予算事だという風に思っていますか。

(事務局)

はい。

(武内委員)

十和の分館設置を反対しているわけではないです。図書館活動において分館や移動図書館車の活動は大切だという事は非常に理解している。一つ運営の問題で、これまでの議会においても先ほども言ったが、物を造ることに一生懸命でランニングコストの問題になってきがちで。運営に対する問題があると、物があっても人が育たないのではないかという心配があります。

これまでも計画の中でも管理運営計画の中でどのような体制にするのか具体的な話が欲しい。学芸員の雇用図書、司書、新たな雇用をします。と言っていたが、実際どのような配置にしてどのようにするのか、移動図書館はどうしていくか、など人のイメージがわからない。数字だけだと分かりにくいと思います。そろそろ、建設開始される状況ですので、もう少し具体的に知りたいと思います。

大方のあかつき館を例に挙げると、現在は指定管理運営をしていて、サポーターとの関係としていい例だと思います。幡多の文化だと思います。今まで臨時職員だけで運営してきた砂浜美術館が指定管理になることによって、安定して働けるようになったなどと聞いたわけではないが、感じた。

直営という事だけでなく、具体的に知りたいと思います。分館の設置と話がずれてしまっているとは思いますが、基本的なことだと思うので言わせてもらいました。

(大河原館長)

ありがとうございます。

今の時点ではサービス計画でも書いておりますが直営です。十和分館につきましては、私の方から説明しますと、運営する人も大事になるので 人の事は一緒に考えて欲しいというご意見がある事は、承っております。昨年12月に施設がこれで建設に動けるという所まで、配置・採用というのは中々動いていないという現実的な部分がございました。これから具体的な採用の方も動いていけると考えています。現在、何年に何人で何日という配置のところまで明言しきれていない所がございます。けれども、具体的な採用には遅くても来年度には、動いていくという風に考えています。人

の事なので具体的な所を申し上げられない状況ですが、ここまでは私の方からお伝えできます。この後、施設の説明の方でもその部分は今後の課題として、人の部分で軽んじているわけではなくて、運営する人がその建物を活かしていくも、立派な建物のまま終わるのも、すべて中のサービスをする人・動かす人それから、ここを使って頂ける町民の皆さんと一緒に作り上げていくものだと思います。頂いたご意見はとても大事なものと承っているところです。

(大元政策監)

十和分館の話については、十和地域のまちづくり計画に書かれているように、意見書が出ております。まちづくり推進協議会の方でいろいろな話が出る中「まずは、建物、拠点となる所も大事だ。」という話にもなりましたけれども、こうやってひとは大事だという事で、いったいどんな形の運営になるのか、そこでどれだけ人に力をいれていくか。という意見もかなり出ておりますので、しっかりつめていく必要があると思っております。合わせて、文化的施設の方も先ほど館長から説明があったように、今やっと政権の方向性が決まりまして、体制に向けてしっかり詰めている所です。役場の方では令和6年から7年度のあたりに機構改革、組織の改革を進めていくという事で確認がされている所です。その骨格的な部分を今年度末までに示して来年度に整備を検討していくという話になっています。そのことも含めて人事に体制も今検討している所なので次回の協議会までには人や人数だけではないという武内委員のお話もありましたが、それからどうやって動いていくのかという事もしっかり押さえていければと考えているところです。

(竹村委員)

他にいかがでしょうか。

ずっと以前に配られた資料の中に5つの役割についてこういう事をします。と細かく書かれてあるが、これを拝見していると実際に誰がやるんだろうかと考えながら読んでいました。確かに、学芸員など専門職の方達がいてくれないとできないことだと感じました。

(竹村委員)

では、次②に移らせて頂きます。

(大河原館長)

それでは、ご説明に来ていただいた十和町民生活課から来られたお二人は離席させて頂きます。ありがとうございました。
一度戻りますが、資料①の表の説明から戻らせていただきます。

① 「四万十町文化的施設サービス計画」に基づく事業の進捗

資料：①サテライト貸出～

② 令和4年度の主な事業の進捗

資料：②令和4年度の主な事業の進捗

—事務局説明—

(竹村委員)

ご質問ご意見などはございますか？

【質疑応答】

（武内委員）

資料の収集方針についてという話が出ましたが、これは新しい文化的施設の分館も含めて、どのような図書、資料を集めるかという事についてという事ですか。

（大河原館長）

はい。今の図書館から橋渡しをしつつ、新しい文化的施設の方ではどのような方針でやっていくかという事です。

（武内委員）

これは図書館協議会との関わりで言うと、方針が決定する前に、ここにどのようなものか、というのを話し合うのですか。

（大河原館長）

はい。その予定です。

（武内委員）

ではその時に話せばいいという事ですね。

（大河原館長）

はい。例えば今の時点で言うと、読書バリアフリーの関係で「こういう資料があった方がいいのではないか？」など、もし何かご意見があればもちろん今の時点でも頂きたいと思いますし、今の時点ではこちらから職員が検討をしたものをお示しさせて頂きますので、その段階でご意見を承るという風に考えております。

（武内委員）

自分の一番興味のある分野である郷土資料と歴史的公文書をどのようにするかという事ですが、郷土資料や地元出身の作家資料を町民の中には自身で集めている人も多くいる。例で挙げると、林一将さんの資料なり集めてきた資料など、写真の武吉さんの膨大な写真など、色んな方がいるが、そのようなせっかく集めて郷土資料をどのようにすればいいのかなど、手順も含めて考えて頂きたいと思います。重なる資料が今後引き継がれない可能性がある。貴重な資料の保管管理なども図書館が引取り考えて欲しい。

十和の詩人の林さん、東又出身の島岡晨さんという方がいます。その資料が地元になく。地元の図書館に書籍全部おいてあって尚且つ紹介までしているとなると、本人も喜んで応援もしてくれると思います。他にも窪川・十和出身の方もいますので、しっかり集めてもらいたいと思います。

もう一つは、図書館は本や資料だけでなく色んな意味での情報の拠点になるので、文化的施設に行ったら「四万十町のこんな事が分かる。こんな事も教えてくれる。」というような拠点してもら

いたい。その為には先ほど言った様な情報が必要な所だと思います。単なる、所蔵数が多い少ないではオーテピア高知図書館には敵いません。そこから取り寄せも出来るので、「四万十町に来たら農業の本はすべてある」など、特色のある収集方針を決めて頂きたいという風に思います。

(竹村委員)

武内さんのおっしゃっている事はそのまま美術の方でも言えることだと思います。地元作家さんのいい作品も沢山ありますので、同じことがいえると思います。私はいつも、どなたのどのような作品があるかわかるような一覧表の検索ができるといいなと思っています。

(大河原館長)

心して、進めていきたいと思っています。

(大元政策監)

余談ですが。十和分館の話もですが、十和のまちづくり協議会でも「冊数は少なくてもいいので、特色あるものにすればどうか。」という意見も上がっていました。

(大河原館長)

「出身者さんでこういう方がいらっしゃる」などまた教えて頂きつつ、図書館職員ももちろんやっていくが、図書館職員だけがやっていくのではなく、ぜひ一緒に研究・探求してより充実していければ一つには思っています。

もちろん職員がやりますし、町が責任を持つという部分もあります。ぜひ皆さんも一緒に良くしていけたらと私の方から希望と言いますか、お願いをさせてください。

(竹村委員)

勉強会的なものが定期的にあれば、情報収集にもなるし新しい文化的施設の運営にも関わって来ると思います。

基本に戻ってしまいますが、施設の中身で（資料：四万十町の新しい文化的施設 No.15）声が聞こえてもいい場所、静かに読書したい人、習勉強したい人が行く、2階の奥はキッズコーナーがあり子どもの声が聞こえる。という風に見たときに、声が聞こえてもいい場所というのはどの場所になるのですか。

(大河原館長)

騒いだりという事はできませんが喋って頂いて構わないスペースになっています。静かに読書されたいという方は、線路側になり電車が通ったりしますが、静かに読書できる場所として静読室を設けさせて頂いています。集中して静かに読書したい方はそちらに移ってもらうようになっています。

(竹村委員)

2階ですね。

(大河原館長)

はい。2階の部屋がございます。一方で1階の多目的室という所は、何にも事業等がない場合は解放していく予定ですので、そこは移動式机などで活用したり、一緒にグループワークをしていただけのスペースになると思っています。

(竹村委員)

アプローチ棟の部分と1階という風に理解してもいいですか。

(大河原館長)

2階にもグループで使える席がございます。そこで一緒におしゃべりしながら学んだりすることも可能になっていると思っています。

(竹村委員)

比較的2階が静かな場所。1階で何人かのサークル活動・打ち合わせ会場もある。

(大河原館長)

はい。2階にはキッズコーナーもありますし、中高生の使いやすいように考えたコーナーもありますので、2階全体が必ず静かという事はないと思います。

(竹村委員)

「人が集まる駄場」という事ですので、人がとにかく集まって来て欲しいんだという所もあると思いますが、そうするとあっちこっちで活動の打ち合わせをしていたり、何かの感想を言い合っている声が聞こえてくる。人が集まるという所というのを保証してしっかりしていければいいなと思いました。

(竹村委員)

それでは、②についてはよろしいでしょうか。

(大河原館長)

③の説明をさせてください。

③ その他の事業実施報告

資料：③その他の事業実施報告

—事務局説明—

(竹村委員)

それでは、(2)の説明よろしくをお願いします。

(2) 四万十町文化的施設について

資料：教育委員会との情報共有・協議用資料

資料：文化的施設整備事業/令和5年1月以降の主な予定（建築関係）

資料：文化的施設の愛称募集

(竹村委員)

沢山ありましたが、ご質問ありますか。

【質疑応答】

(武内委員)

新しい文化的施設の愛称募集の事です。私は地名の研究をしています。地名、事実などの名称を決めるのにはルールがないです。色んな人が集まって決める事ですが、それが正しいという事ではないです。手続き上、そうなる状況で苦しい所ではあります。代表の委員が集まるという事です。が、委員に配慮と注意して欲しいという事、ぜひ読んでもらいたいものがあります。日本学術会議が地名・地物の報告書があるので是非読んで頂きたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(竹村委員)

案が出てきてから、あれこれ言っても変更が難しいという事がこの2年間にありました。それで先に言いますが、募集の範囲ですが、人に来て欲しいということであれば、町民は勿論ですが、高知県内からも来てほしい、もう一つ関わりがある方としてふるさと納税の納税者を忘れてはならないと思います。四万十町に興味、関心を寄せてもらって応援してもらっている。四万十川・四万十町のネームバリューというのも全国的ですし、1回でもふるさと納税をして下さった方も大事にしていくこと大切だと思います。よろしくお願いします。

12月の議会の議決が1票差だったという事で、そこも大事にしていかなければならない所だと感じます。

(武内委員)

個人的な感想ですが、議会が新しい体制になって、その人達が議会の意思表示で何らかの失効が出た場合、解散権を行使するなどの政治的な問題が出てこようかと思いますが、新しい意見が表明された時には、どうやって対応していきますか。

(大元政策監)

今回の議決は、先ほど言ったように1票差でした。ただその前段階の資材価格が上がる前の総事業費について審議した時も1票差でした。ただ、同じ議員さんでしたが1年たっても1票差は変わりませんでした。自分たちとしても、12月には予算を上げて行きたいという希望はお示ししていました。これまで議論していた中で、新しい議員さんに審議して頂くよりは、1回議決したものですので増額についてしっかり判断してもらおうと思っておりました。先ほど武内委員が言った通り新しい議員さんになり、新しい意見が出てきた時には、しっかり受け止めて対応してまいりたいと思っております。

(竹村委員)

何か意見ありませんか。

これは町民説明会の資料で行程表が載っていましたが予定通りに進んでいますね。推進室の方々、本当にご苦労様です。

(4) が終わりましたので、質疑応答は終わります。

(大河原館長)

ご意見ご質問本当にありがとうございました。今回その他はありません。

最初に会長が言っていましたように今年度の開催は最後になると思います。なにか不測の事態が起こって、もう一度集まらないといけないという事にならない限り今回で最終になります。一年間どうもありがとうございました。

先ほど、生涯読書推進計画の時に刈谷委員が参加して頂いているという紹介をさせて頂きましたが、小橋委員にも参加して頂いております。ご紹介が漏れておりました。遅れましたけれども一緒に協議頂いておりますので宜しくお願いします。

また、来年度4月以降に日程の調整をさせて頂いてまた次回になりますが、移動図書館車の出発式が4月の上旬になろうかと思います。今の時点でスケジュールが決定しておりませんので具体的なお話ができず申し訳ありません。移動図書館車に出発式の日程が決まりましたらご案内させていただこうと思っております。もしご都合が会えば是非見に来て頂けたらと思っております。今の有力候補としては4月の4日、5日になっていますが、日程も時間もまだ決まっておりません。また決まり次第図書館等のお知らせも含めてお伝えさせていただきますので宜しくお願いします。

(大河原館長)

では閉会の挨拶味元課長お願いします。

(味元課長)

皆さん長時間、色々ご意見等頂きましてありがとうございました。

来年度以降もご意見、審議して頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

これで閉会とさせて頂きたいと思えます。ありがとうございました

味元課長

－閉会－